

Ichiba journal Canvas vol.02

安心できるつながりの中で、自らの学びを楽しみ、新たな価値を生み出す児童の育成
～造形的な見方・考え方を働かせながら、自分の思いを表現できる学びの工夫～

2年生 図画工作科

「ふたりは なかよし」



今年度2回目の研究授業は、2年生の「立体」の学習でした。「図画工作科」とひとことで教科はくくられていますが、学習する内容は、5つに分かれています。

「造形あそび・絵・立体・工作・鑑賞」

この内容を1年間で万遍なく取り入れながら、付けたい力を育成していきます。今回の「ふたりは なかよし」の学習では、紙コップや紙筒の形や色などをもとに、自分の作りたい二人組を思いつき、どのように表すかを考えることが目標でした。



授業のはじめに「今日は何をするのか」を全体で確認。紙コップと紙筒の寸前に、子どもたちは、思い浮かんだこと口々につぶやいていました。イメージがぐんと膨らんだ瞬間です。



たくさんの材料を手に取り、重ねたり倒したりしながら、見方を広げていきました。図工科では、何度も「試す」ことが大切です。それを繰り返す中で、知識となって身に付いたり、新たな気付きが得られたりします。

自分一人では、イメージが広げられない場合には、友達に相談することも効果的です。前回の6年生同様、2年生も「どうしたらいいと思う?」「こうしたらいいんじゃない?」と自然な会話の中で、また安心して活動に向かう姿が見られました。



別の日に、「二人組」を完成させ、友達と一緒に会話しながら、楽しく遊ぶことができました。

図工タイム



1学期最後の図工タイムは「絵の具」の技法を使ったTシャツづくり第2弾! 前回の「デカルコマーニ」の技法で仕上げた作品の裏に、「にじみ」や「ドリップング」の技法で作品づくりにチャレンジしました。表も裏も模様の付いた素敵なTシャツの完成です!

